

# 「国土管理専門委員会」における今後の主な論点(案)

平成31年4月23日  
国土管理専門委員会

# 国土管理専門委員会

## 任務・使命

- 人口減少に対応しつつ、国土を適切に管理するとともに、これを好機ととらえた自然環境、生活環境等の改善を進めることにより、美しい国土を守り次世代に継承するための以下の事項について調査。  
(人口減少に対応した国土の利用・管理のあり方、国民の参加による国土管理 等)

平成28年 9月15日 第1回

- ・検討趣旨及び主な論点について

平成28年12月14日 第2回

- ・国土利用・土地利用に関する制度について
- ・国土利用計画に関する事例紹介

平成29年 2月27日 第3回

- ・国土利用計画に関する事例紹介

平成29年 5月12日 第4回

- ・とりまとめ案について

【2017年とりまとめ】(平成29年5月29日)  
これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画  
(市町村計画)のあり方

平成29年 9月27日 第5回

- ・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用を推進していく上での課題
- ・国土利用計画(市町村計画)を定める上での留意点

平成29年 12月7日 第6回

- ・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用に関する事例紹介

平成30年 2月16日 第7回

- ・複合的な効果をもたらす施策、国土の選択的な利用に関する事例紹介

平成30年 4月17日 第8回

- ・とりまとめ案について

【2018年とりまとめ】(2018年6月1日)  
人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために

## 委員名簿

浅見 泰司 東京大学大学院工学系研究科教授

飯島 淳子 東北大学公共政策大学院教授

一ノ瀬 友博 慶應義塾大学環境情報学部教授

大原 美保 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター主任研究員

瀬田 史彦 東京大学大学院工学系研究科准教授

土屋 俊幸 東京農工大学大学院農学研究院教授

◎中出 文平 長岡技術科学大学副学長

○中村 太士 北海道大学大学院農学研究院教授

広田 純一 岩手大学農学部教授

山野目 章夫 早稲田大学大学院法務研究科教授

◎は委員長、○は委員長代理

平成30年 8月10日 第9回

- ・持続的な利用が困難な土地の管理のあり方を検討する上での課題

平成30年 10月18日 第10回 ※長野市にて開催

- ・持続的な利用が困難な土地についての事例紹介

平成30年 12月20日 第11回

- ・持続的な利用が困難な土地についての事例紹介

平成31年 3月14日 第12回

- ・持続的な利用が困難な土地の管理のあり方に関するケーススタディー実施報告

平成31年 4月23日 第13回

- ・とりまとめ案について

【2019年とりまとめ】  
なし崩し的な放置が予想される土地の管理のあり方

# 2019年度検討事項における主な論点

## 「国土管理専門委員会」における今後の主な論点（案）

### ① 2019年とりまとめにおける主な残された課題について

- 管理されていない土地の問題が深刻化していない地区（大都市遠郊部、地方都市近郊部等を想定）で将来的に起こりうる問題への対応のあり方
- 地目横断的な管理構想の検討（放置すべきでない土地の類型化）
- 土地政策分科会特別部会とりまとめ（平成31年2月）で「新たな時代にふさわしい土地基本法の改正及び土地政策の再構築に向けて、鋭意、検討」するとされた方向性を踏まえた必要な制度のあり方

### ② これまでのとりまとめを踏まえた国土の利用・管理のモデル的实践

- これまでのとりまとめを踏まえたケーススタディーを実施し、取組の横展開に向けた更なる課題を抽出

例：2018年とりまとめで示した「人（主体）」、「土地」、「仕組み」の3つの視点に沿った具体的なアクションの実践

2019年とりまとめの残された課題である中心となる主体の創出・育成

（長野県長野市旧中条村でケーススタディーを引き続き実施していくことを想定）